

中学受験

(演習用)

実戦的解法による

分野別算数 1 0 0 0

ファイル No. 5 8

5-N 三元以上の
連立方程式

中受ゼミ G

1

5つの^{ちが}違う整数があり、小さい順にA, B, C, D, Eとします。5つの整数から3つずつたすとそれぞれ、6, 8, 9, 10, 70, 71, 72, 73, 74, 75です。5つの整数を全部たすと①です。いちばん大きい整数Eは②です。

2

小さい順に A, B, C, D, E の 5 個の整数があります。これら 5 個の整数から 2 個を選びます。すべての選び方について、それぞれの和を計算すると 24, 30, 32, 34, 36, 40, 42, 42, 48, 52 となりました。 $A+B = \square$, $C+D+E = \square$ です。

3

10から19までの整数のうち4つを選んで、数が小さい方からA, B, C, Dとします。4つの数の平均は15で、 $A + D = 29$ 、 $C + D = 34$ のとき、Bはいくつですか。